

飲食店だからできる子ども食堂の仕組みで、
子ども達に今日の一食がある日常を、地域と共に届けませんか？



FOOD RIBBON 参加飲食店 募集！！

飲食店参加について
詳しくはこちら↓

多くのメディアで
特集されています！



飲食店によるフードリボン
活動のTV事例はこちら！

応援コミュニティに
入る！



一緒に活動を盛り上げたり、
より近くで応援するグループは
こちら！



子ども達の日々の食事と笑顔を支える！

フードリボンのしくみ



1

お店のお客さんからリボンが支援される



2

お客さんが支援したリボンは店内に掲示



3

お店のリボンで子ども達は食事ができる！



お店のお客さん



飲食店



地域の子ども

1

リボンを支援
(300円)

2

お店にリボンが
掲示される

3

お店のリボンで
食事ができる
(無料)

一般社団法人ロングスプーン協会

冠スポンサー

お問い合わせ: フードリボンプロジェクト事務局
info@longspoon.net



人間力大学



日本寄付財団



1 貧困をなくそう



2 飢餓をゼロに



10 人や国の不平等をなくそう



11 住み続けられるまちづくりを



12 つくる責任 つかう責任

フードリボンプロジェクトへの参加の流れ

説明会/個別
相談会に参加

フードリボンPJ
参加フォーム入力

本部からお店に
実施キットを送付

フードリボン活動
実施スタート

実施に必要な準備

本部から提供するもの

- ・フードリボン100個
- ・ロゴステッカー2枚
- ・店舗向けガイドウェブページ
- ・フードリボンのパンフレットPDF
- ・フードリボンの使い道に関する文書(店内掲示用)

お店で用意するもの

- ・磁石がつくボード(フードリボン掲示用)
- ・POPチラシやノボリなど(任意)

フードリボン活動の実施概要

対象

中学生以下(地域性や業態などによって変更可能)

実施時間

お店が可能な時間(例:16:00-18:00)

提供するメニュー

まかない食のイメージ!

子どもはリボン1つで1日1食分食べられる

料金

フードリボンは1つ300円

(社会情勢によって変動する場合があります)

参加の条件

フードリボンプロジェクトの思いと
趣旨に賛同して頂けること

※加盟金や納付金などはありません

メディア・表彰例

千葉テレビ

MBSニュース

広島ホームテレビ

テレビ埼玉

関西テレビ

中国新聞

日本経済新聞

読売新聞

等のメディアで

紹介されました!



第2回「SDGsジャパンスカラ
シップ岩佐賞」受賞!

子ども達



「このお店で働く店長さんやお姉さん達をみて、将来このお店で働いてみたいと思いました。いつも美味しいご飯をありがとうございます。」

「いつも温かいご飯をありがとうございます。私はたまご焼きが好きです。店長さんのこと、一生忘れません。また会えたとき、お返ししたいと思います。」

保護者の方々

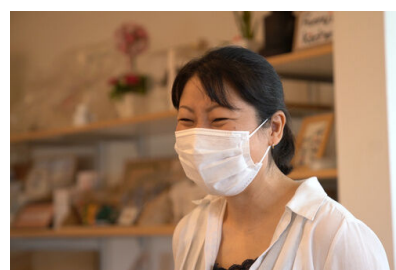
シングルマザーで子育てをしている私としては、正直とてもありがたいです。仕事 仕事でいつも忙しく、おやつもスナック菓子などに頼りがちです。学校から帰ってきて、夕食までの空腹をどうしようかいつも頭を悩ませていました。(中略)このような食堂があると知りました。小学3年生の息子にも話してみたら利用したいらしく、大変喜んでいました。しっかりと感謝を伝えて、公共マナーを守るように言っていますが、それでも周囲の皆様に迷惑をかけるような場面がありましたら、どうぞ遠慮なく、公共マナーを教えていただけると幸いです。

飲食店の皆様の声



大阪 火の鳥天下茶屋店
竹内秀樹さん

「地域のこどもを地域で育てる」その想いで始めた活動も色々な方からの支援のおかげでこども達の【笑顔】を作れていることに喜びを感じます。飲食店の存在価値を高めるためにもこの活動を続けていきたいと思っています。フードリボン活動を通じて、食材を寄付してくれる方との繋がりや、お店を応援してくれる人も増えています。



富山 ファニーズキッチン
大河原晴子さん

子どもは産まれてくる家庭の環境は選べません。子どもたちが生きること育つことをみんなで守り喜び応援していく、そんな社会になることを願いながら地域の方々のご協力により飲食店だからこそできることをさせていただいています。子ども達のことを応援している大人が周りにたくさんいるんだってということが、伝わっていくと嬉しいです。